第10回 Ajaxによる非同期通信

今回の演習の目的は次のとおりである。

- データをサーバーから非同期通信で得て、ページの一部を書き直す Ajax の基本的な使い方を理解する。
- PHPの header 関数の利用法
- 同期通信と非同期通信の理解
- データを利用したページの作成法

課題に(必須)と書かれたものを最低行うこと。それ以外の課題はいくつか選択してよい。

課題 1 (PHP の基礎) 演習のビデオ1を見て次の問いに答えよ。

- 1. 次のことについて報告をする。
 - (**必須**) E n 角形の頂点の位置だけをサーバーから取得するプログラムを実行する。
 - (**必須**) 何回か辺の数が異なる正多角形を表示後、ブラウザの「戻る」ボタンそ押したと きに起こること
 - (必須) ブラウザのアドレスバーに直接 svg-polygon-ajax.php?N=5 と入力するとなにが起こるか。
 - アドレスバーに svg-polygon-ajax.php?N=2 としたら何が起こるか。問題点を指摘し、 修正する。
 - テキストボックスを追加して、サーバーに図形の大きさも渡すようにする。複数の値を 渡す時には渡すパラメータ名と値の間を&でつなげる。

課題 2 (Ajax による同期通信と非同期通信の違い) 演習のビデオ2を見て次の問いに答えよ。

- 1. **(必須)**「素数の数を数える」を自分のサーバーで実行した結果を報告する。同期通信と 非同期通信の両方を報告すること。非同期通信では2回以上実行すること。
 - 素数を求める区間を 10,000,000 まで広げるようにする。求める範囲の最大値や区間の幅をメニューから変更できるとよい。
 - 非同期通信で起こる結果の表示に不具合があれば直す。

課題 3 (この演習の HP) 演習のビデオ 3 を見て次の問いに答えよ。

- 1. **(必須)** このリストで使用されている、ファイルに関する PHP の関数のリストと簡単な 説明をする。
 - (必須)date 関数の仕様を調べて、機能を一覧表にする。
- 2. データをもとに簡単な HP を作成する PHP または JavaScript のプログラムを作成する。(例: 国民の休日の日付と名称を組みにしたデータから、一覧を作成する。データはテキストでも 配列でも構わない。)

情報メディア専門ユニットI(演習)

第9回(6/20)ノートの内容

項目の最後の文字は次に示す項目の評価である。 \mathbf{y} (プログラム等のリスト)、説 (プログラム説明が手書きまたは印刷である)、 \mathbf{Z} (結果のキャプチャ画面)、 \mathbf{Z} (考察が手書きまたは印刷である) を意味し、次の記号で評価を示す。 \mathbf{Z} (不備またはない)、 \mathbf{Z} (もう一息)、 \mathbf{Z} (良い)、 \mathbf{Z} (し、)、 \mathbf{Z} (し、)

評価 項目	優れている	標準的	改良の余地あり	
課題 1 (30%)	□「正 n 角形の頂点の位置だけをサーバーから取得するプログラムを実行する」の報告がすべてあり、考察も正しい。 □ア ドレス バー に直接 svg-polygon-ajax.php?N=と乳録したときに起きる結果の報告が正しい。考察も十分にある。 □テキストボックスを追加して、他の要素もサーブログラムが正しく実行されている。考察も十分にある。	凵ア ド レ ス バ ー に 直 接	□「正 n 角形の頂点の位置だけをサーバーから取得するプログラムを実行する」の報告で複数回実行しないか、足りない。 □複数回実行後、「戻る」ボタンを押したときの画面の説明がない。 5 □ ア ド レ ス バ ー に 直接 svg-polygon-ajax.php?N=と乳録とお正しくない。 □ テキストボックスを追加して、他の要素もるがない。 □ テキストボックオサーに渡してがない。	リ説図考
課題 2 (40%)	□「素数の数を数える」を自分のサーバーで実行した結果の報告が十分ある。 □「素数の数を数える」について最大値や区間の幅を変更したものを自分のサーバーで実行した結果の報告が十分ある。 □非同期通信で起こる結果の表示に不具合が修正されている。	□ 問期通信と非同期通信の両方の報告はあるが、非同期通信では2回以上実行していない。 □ 非同期通信と同期通信の違いの説明が不十分である。 □ 非同期通信で起こる結果の表示に不具合の修正が不十分である。	□同期通信と非同期通信の両方の報告のどちらかまたは両方ない。 □非同期通信と同期通信の違いの説明がないか、間違っている。 □非同期通信で起こる結果の表示に不具合の修正がないか間違っている。	説考
課題 3 (30%)	□このリストで使用されている、ファイルに関する PHP の関数のリストと簡単な説明が十分にある。 □date 関数の機能を一覧表の内容が十分にある。 □データをもとに簡単な HPを作成する PHP または JavaScript のプログラムがあり、リストの説明、動作を示す図などが十分にある。	□このリストで使用されている、ファイルに関する PHPの関数のリストと簡単な説明が少し足りない。 □date 関数の機能を一覧表の内容が少し足りない。 □データをもとに簡単な HPを作成する PHP またはJavaScriptのプログラムがあり、リストの説明、動作を示す図などが少し足りない。	□このリストで使用されている、ファイルに関する PHPの関数のリストと簡単な説明がほとんどないか、説明に間違いが多い。 □date 関数の機能を一覧表の内容が足りない。 □データをもとに簡単な HPを作成する PHP またはJavaScriptのプログラムがないか、リストの説明、動作を示す図などがない。	リ説図考

情報メディア専門ユニットI(演習) 第10回(6/27)プレゼンテーション

この回の予習に基づいてグループ内で議論したことや工夫した点について報告する。

グループメンバー学籍番号

評価 項目	優れている	改良の余地あり
発表 技法 (20%)	□はっきりと丁寧に説明していた。 □発表の際に聴衆の反応を確かめていた。 □間の取り方がよかった。 □決められた時間に近い範囲で行った。 □機材の設定や準備がすぐできた。	□説明が途切れた。 □声が少し大きすぎたか小さすぎた。 □発表の際に聴衆の方をあまり見ていない。 □決められた発表時間が長いまたは短い。 □手元の資料やPC画面を見て発表していた。 □機材の設定や準備に時間がかかった。
発表 構成 (30%)	□初めに発表内容に関する概要があった。 □発表内容の順序がよい。 □各構成の部分のバランスが良かった。 □図や表を使い簡潔にまとめられていた。 □引用は適切である。	 □文字だけの発表であった。 □図が見づらい。 □項目の内容の分量にばらつきがあった。 □スライドごとに情報の詳しさが異なりすぎた。 □ページの分量が発表時間に対して少し足りない、または多い。
発表 内容 (50%)	□内容に間違いがなかった。 □図の使い方がよかった。 □SVG または HTML のデモが適切である。 □内容が自分の言葉で述べられていた。 □それぞれの項目の関連性とバランスがよかった。 □発表したいことが十分に説明されていた。 □自分の意見が明確であった。	□内容の説明不足なところがある。 □図が少なくて説明がわかりずらい。 □実際のデモのがない、または少ない。 □内容に関して独自性がない。 □それぞれの項目の関連性が不十分である。 □発表内容の必要性の説明が足りない。